

日時：2005年11月23日（水・祝）
午後1時～午後5時
場所：早稲田大学国際会議場第三会議室

年少者日本語教育学を考える会 第3回 研究集会

「年少者日本語教育学を考える会」では、昨年度につづき、第三回研究集会を開催することにしました。現場の実践を共有し成果を蓄積する場を作ること。現場の課題、或いは問題を設定し直して実践的課題の解決のためのアプローチを探ること。その成果を次の実践・研究に引き継ぐために残していくこと。これが研究集会の目的です。

第三回目は、お茶の水女子大学の内田伸子先生をお招きし、子どものことばと発達をテーマにご講演をしていただき、その後、ラウンドテーブル形式で内田先生を囲んで議論をし、テーマを深めていきたいと考えております。「日本語を第二言語として学ぶ子どもたち」の教育に日頃より関心のある方々の参加を期待しております。参加費は無料です。是非ご参会ください。

プログラム

開会挨拶 & 趣旨説明	午後 1:30～1:45
講演 内田伸子先生(お茶の水女子大学)	1:45～2:45
「子どもとことばの発達—内面を耕すことばの教育のカリキュラム—」	
講演 60分 質疑応答 10分	
***休憩 20分 ***	2:45～2:55
ラウンドテーブル	3:15～4:30
「読み書き能力と発達」—内田先生を囲んで—	
前半は子どもたちへの日本語教育を実践されている方2人と呼びかけ人2人がテーブルについて議論し、後半は会場の皆さんと全体討議を行います。	

呼びかけ人：川上郁雄（早稲田大学）、石井恵理子（東京女子大学）、池上摩希子（早稲田大学）、齋藤ひろみ（東京学芸大学）、野山 広（国立国語研究所日本語教育部門）

連絡先：東京学芸大学教育学部 齋藤ひろみ
(shiromi@u-gakugei.ac.jp、tel/fax042-329-7718/7239)